

平成22年10月20日

学校教育部 学校教育課
内線 4153

「平城遷都1300年祭 世界遺産学習全国サミット2010 in なら」の開催について

平城遷都1300年を迎えたこの年に、世界遺産学習を全国に発信する機会とするために、国内で初めて全国規模の標記大会を開催します。

- 1 日時 平成22年11月28日(日) 10時～17時15分
- 2 会場 国立大学法人 奈良教育大学
- 3 主催者 文部科学省、奈良市教育委員会、奈良教育大学、奈良国立博物館、世界遺産学習連絡協議会
- 4 参加者 市立学校・園教職員、市民、ユネスコスクール関係者、世界遺産関係者等
(600名予定)
- 5 趣旨 国連において、2005年～2014年を「ESD(持続発展教育)のための10年」とし、世界的にその推進が求められています。
奈良市が「奈良らしい教育」の中核として推進している世界遺産学習は、世界遺産や地域遺産、伝統文化等の文化遺産を切り口に、地域や奈良を大切に、誇りに思う心を養うことから、持続可能な社会の担い手を育てる「奈良市版ESD」です。
このたび、世界遺産学習やESDの共同研究や啓発、研修の機会として標記のサミットを開催します。
- 6 これまでの経緯及び今後について
 - ・奈良市では、奈良市教育ビジョンにある「奈良で学んだことを誇らしげに語れる子どもの育成」を実現するために、奈良らしい教育の中核として世界遺産学習を位置づけています。
 - ・平成13年度から小学校5年生を対象に、現地見学を中心にした世界遺産学習を実施してきました。平成19年度から奈良市版ESDとして新しく再構築し、年1回の研究大会を開催してきました。今年度は全国サミットとして開催します。
 - ・現在、日本の世界遺産14件のうち、7件の教育委員会が世界遺産学習連絡協議会に参加していただいています。今後も世界遺産を持つ教育委員会を始め、より多くの教育委員会に参加を求め、文化遺産を通じた持続発展教育の充実・推進を図っていきます。

世界遺産や地域遺産、伝統文化を活用したESDの推進を目的に、共同研究を行う教育委員会(奈良市、斑鳩町、橿原市、桜井市、深浦町、平泉町、堺市、姫路市、大田市、大牟田市、屋久島町、読谷村の各教育委員会)と学校(奈良教育大学、奈良県立法隆寺国際高等学校)